

第3回 部活動地域移行検討委員会

- P1～5 小学校5・6年児童アンケート
- P6～9 小学校5・6年児童の保護者アンケート
- P10～12 部活動指導員・学校アンケート
- P13～15 部活動指導員・本人アンケート
- P16～18 小中学校教職員アンケート

令和6年2月19日（月）

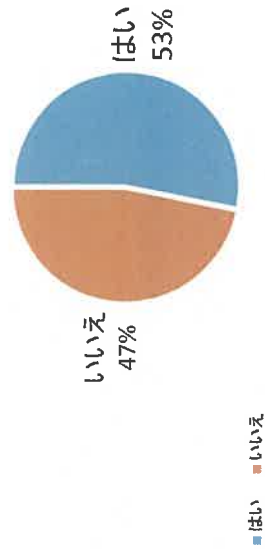
我孫子教育委員会指導課

中学校部活動の地域移行に 関するアンケート（児童）

実施時期 令和5年12月1日～22日
対 象 市内全小学校5・6年児童 1,973名
回 答 1,629名（対象児童の82.56%）

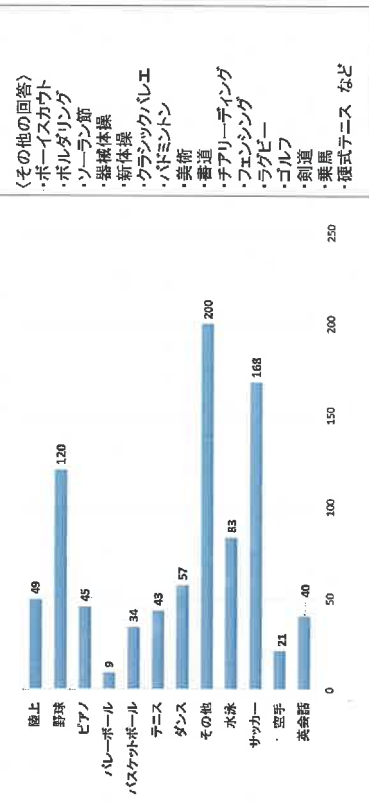
1

1 現在、学校以外の団体に入って、
スポーツ活動や文化活動を行っていますか？

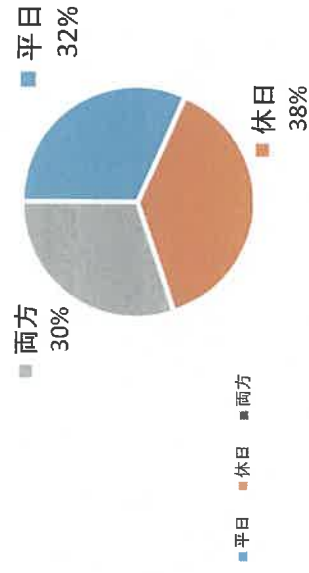


2

1 どんなスポーツ活動や芸術活動をしていますか？

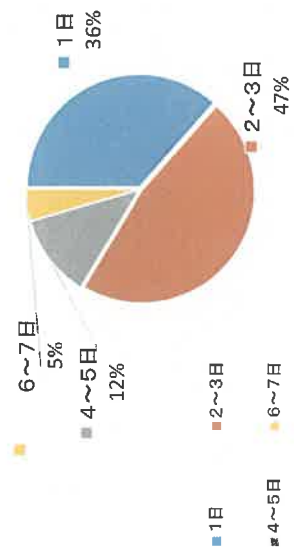


3 その活動はいつやっていますか？



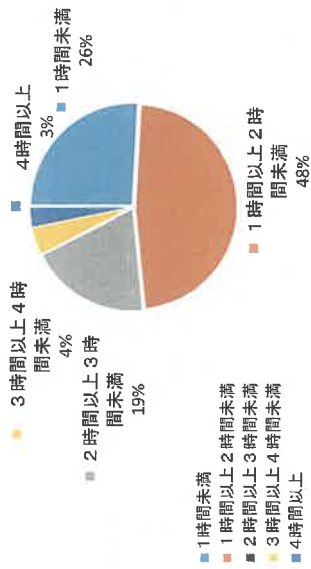
4

4 その活動は、一週間でどのぐらいやっていますか？



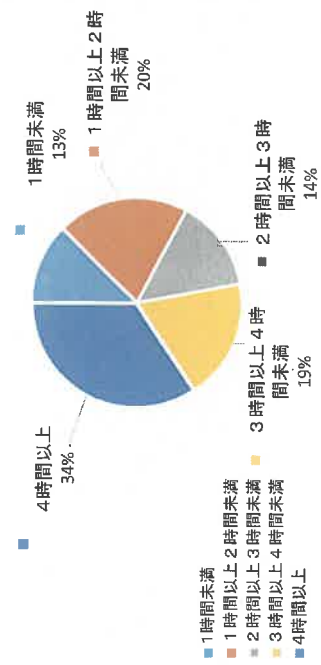
5

5 その活動の平日の活動時間はどのぐらいですか？



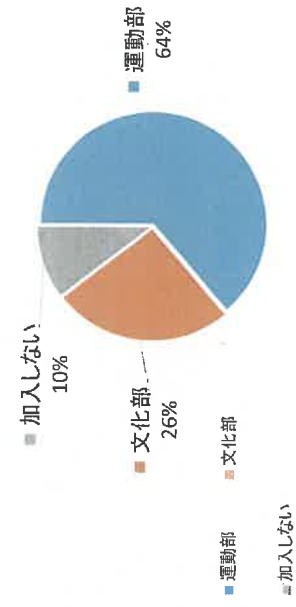
6

6 その活動の休日の活動時間はどのぐらいですか？



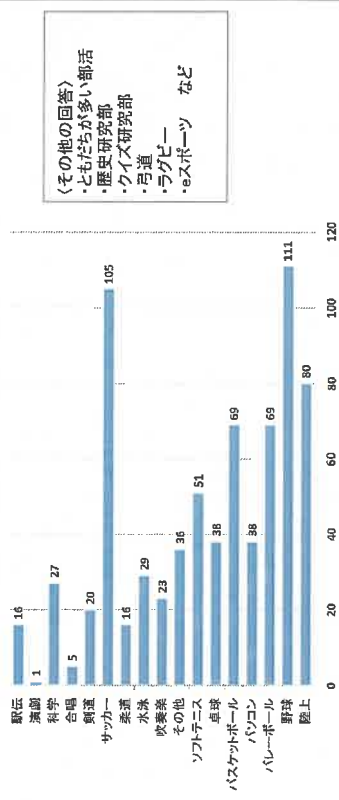
7

7 中学校に入学したら、どんな部活動に加入したいですか？



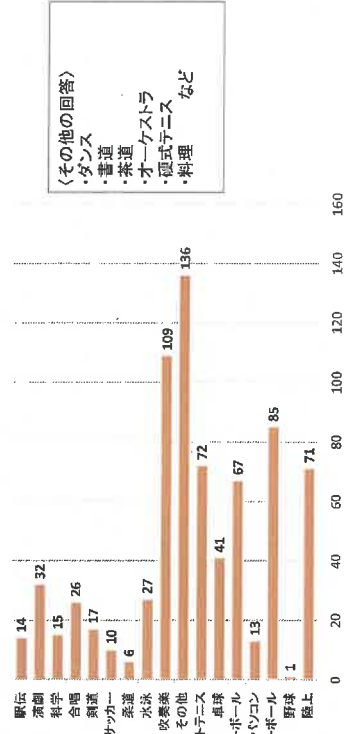
8

8 男子 何部に入部しようと思いますか？



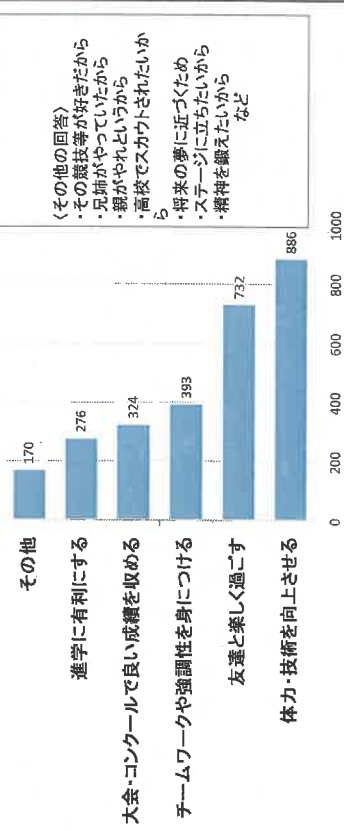
9

8 女子 何部に入部しようと思いますか？



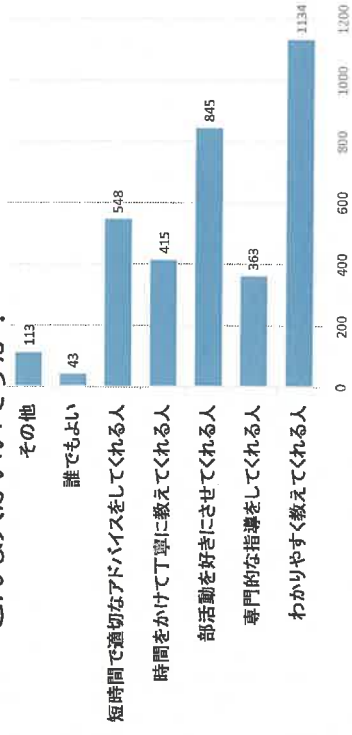
10

9 部活動に加入する目的は何ですか？



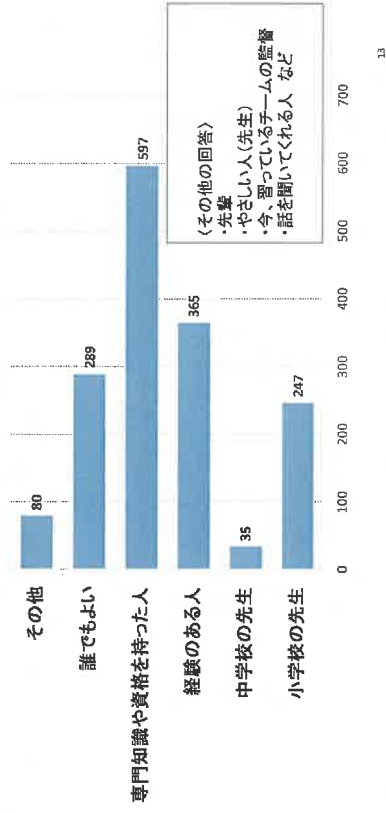
11

10 中学校の部活動で教えてくれる人は どんな人がいいですか？



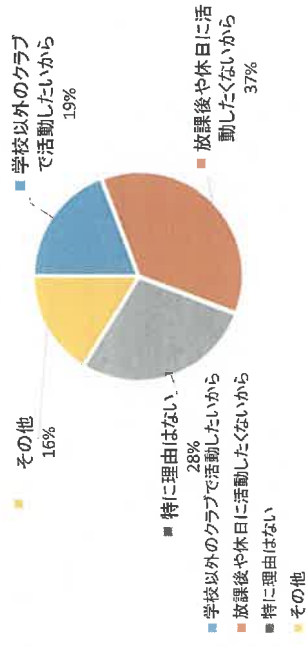
12

1 1 中学校の部活動は、誰に教わりたいですか？



13

1 2 中学校の部活動に加入しない理由は何ですか？



14

1 2 中学校の部活動に加入しない理由は何ですか？ その他の回答

- ・今の習い事続けたいから
 - ・趣味を続けたいから
 - ・時間がないから
 - ・勉強で忙しいから
 - ・朝、早起きしたくないから
 - ・どんな部活動があるか分からないから、入学してから決める
- など

15

1 3 中学校の部活動に期待することは何ですか？

- ・みんなで仲良く、楽しく活動したい
 - ・みんなで上手になりたい
 - ・チームのために自分もがんばりたい
 - ・どれだけ上手くなれるか楽しみ
 - ・大会などにたくさん出たい
 - ・いろんな人と交流できるのが楽しみ
- など

16

14 中学校の部活動で不安なことは何ですか？

- 先輩との関係（こわくないか、いやがらせがないか）
- 先生との関係（こわくないか、厳しくないか）
- 友達と仲良くなれるか（いじめなどないか）
- 部活動の時間が長くないか（活動日数や時間）
- 技能を伸ばせるか、試合に出られるか、ついていけるか
- 人数が集まらないと活動できないのか
- 遅刻しないでいけるか
- 入りたい部活動がないから、何に入るか（野球・男子バレー・ダンスなど）

17

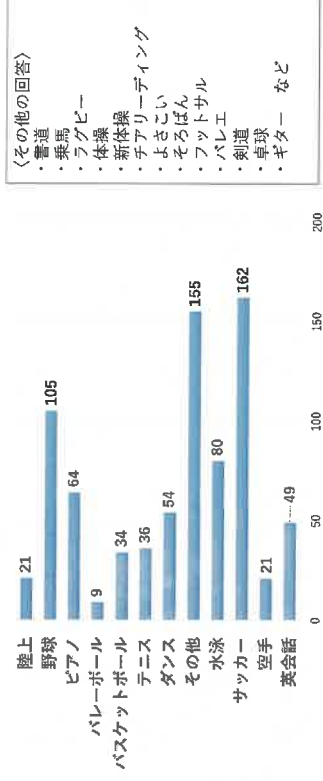
中学校部活動の地域移行 に関するアンケート

(小学校保護者)

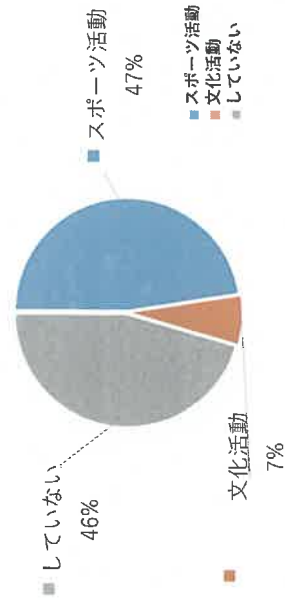
実施時期 令和5年12月1日～22日
対象 市内全小学校5・6年児童の保護者 1,973名
回答 1,218名 (対象保護者の61.73%)

1

2 お子さんはどんなスポーツ活動や文化活動をしていきますか？

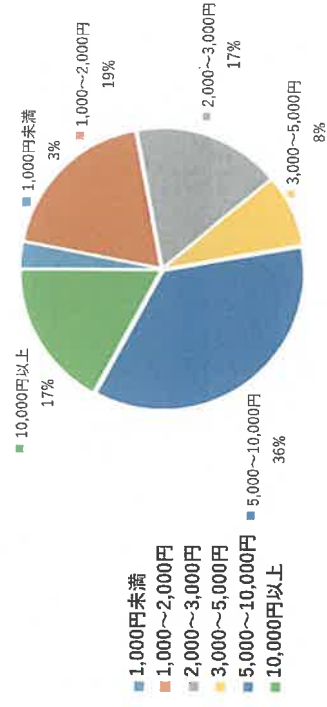


1 現在、お子さんは学校以外の団体に入って、スポーツ活動や文化活動を行っていますか？



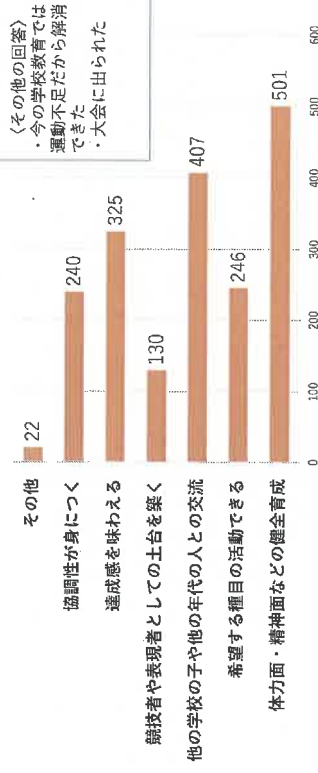
2

3 その活動の月謝はいくらですか？



4

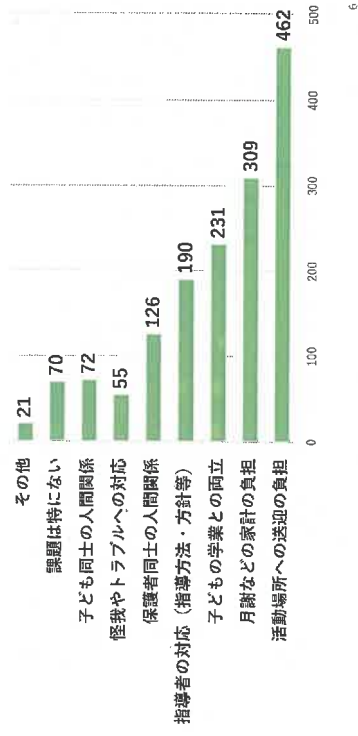
4 学校以外のクラブ活動に所属してよかったことは何ですか？



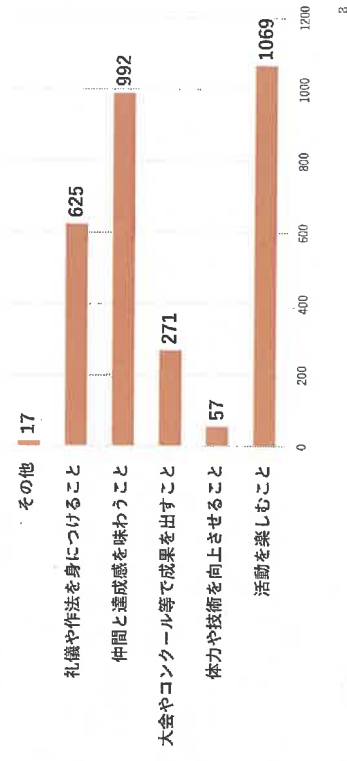
5 学校以外のクラブ活動の課題は何ですか？ その他の回答

- ・その活動の中で保護者の役員があり、その負担が大きい。
- ・スポーツ少年団では、根本的に運営や指導がボランティアであり必ずしも専門性を持つとは限らない。
- ・児童の数は減少するなか小学校毎にチームがあり非効率である。
- ・ボランティア、指導者が足りない。
- ・大会情報収集と親の同行スケジュール調整が大変。
- ・バット、グローブ、スパイクなどの備品が高額である。
- ・活動日数が非常に少なく、技術が身につかない。 など

5 学校以外のクラブ活動の課題は何ですか？



6 中学校の部活動に期待することは何ですか？

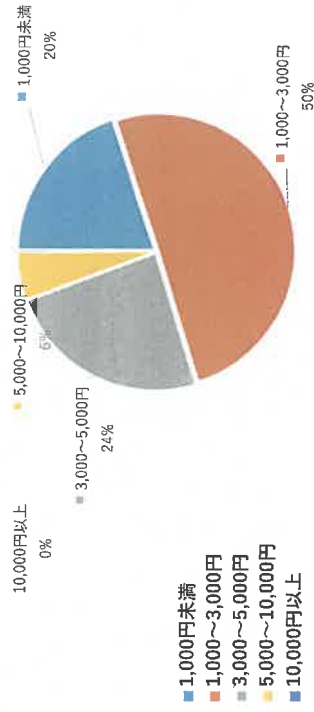


6 中学校の部活動に期待することは何ですか？ その他の回答

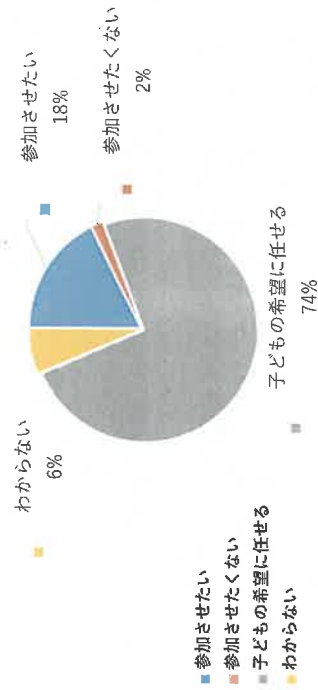
- ・学年を超えた仲間と同じ目標に向かって切磋琢磨すること
- ・授業以外での先生方とのつながり
- ・入退部が柔軟で、放課後の時間を充実させられる
- ・大会に参加することで、負けず嫌いの精神を身につけたい。

9

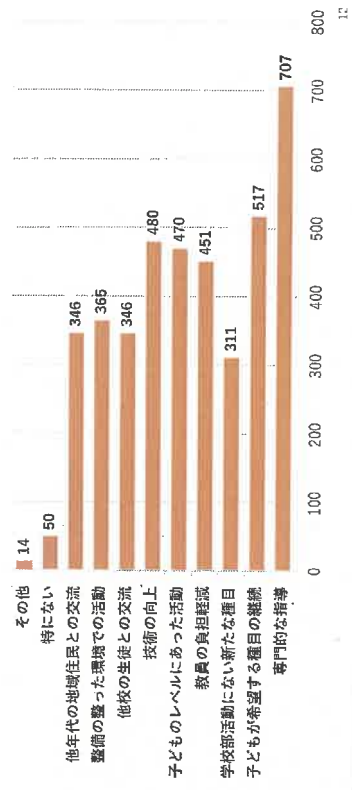
8 地域クラブ活動の1ヶ月あたりの費用はどのぐらいが妥当ですか？（土日どちらか3時間・月4回）



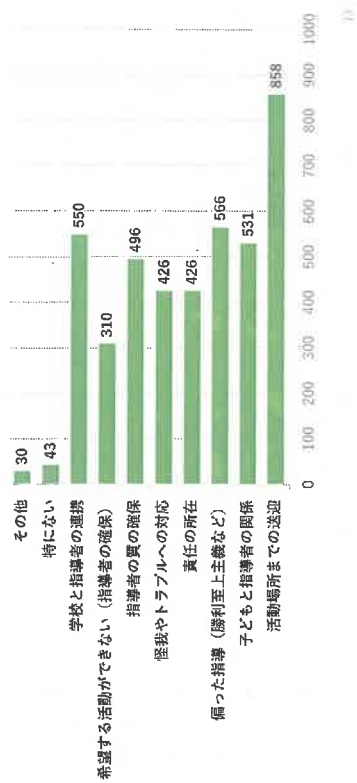
7 休日の中学校部活動が地域クラブへ移行した場合、お子さんを参加させますか？



9 中学校部活動を地域クラブ活動が担うことについて期待することは何ですか？



10 中学校部活動を地域クラブ活動が担うことについて心配することは何ですか？



10 中学校部活動を地域クラブ活動が担うことについて心配することは何ですか？その他の回答

- ・月謝の負担（経済的負担が増えるのではないか）
- ・中学生であっても保護者が関わらなければならないやらせたくない
- ・選択制になることにより、地域ごとの参加人数の偏りが生まれる
- ・保護者が指導者の場合もあり得ると思うが偏った指導にならないか
- ・子どもの技能や体力等の差を理解した指導をしてくれるか
- ・指導者が子どもと連絡先を交換するなど、関わり方が心配

部活動指導員に関するアンケート（学校）

期間 令和5年12月1日～22日

対象 部活動指導員が配置されている中学校5校（14部活動）の学校長（顧問・生徒）

方法 部活動指導員が配置されている中学校が Forms に回答する

1 【部活動生徒が回答】

部活動指導員から指導を受けることで、よかったことは何ですか。

- ・専門的な指導を受けることができた。
- ・専門的な指導をしてもらえた。サッカー技術の向上のために、生活面においても生徒たちを指導してくれている。
- ・顧問不在時にも練習が可能になり、練習量が増えてよかった。
- ・一人ひとりに応じたアドバイスを受けることができた。
- ・専門的な技術指導や練習方法を教えてもらえている。それが技術の向上につながっている。
- ・記録が伸びるようになった。
- ・練習がスムーズに進むようになり、質が上がった。
- ・様々な種類の練習ができるようになった。
- ・部活動への意識が高まった人が増え、部活動が楽しみになった。
- ・自分から練習に取り組むようになった。
- ・わかりやすく教えてくれる。
- ・一緒に練習（プレー）をしてくれる。
- ・用具の使い方について具体的なアドバイスをしてくれる。
- ・顧問の先生だけでは見切れない点を細かく指導してもらえ、いろいろな相談ができる。
- ・様々な視点からアドバイスがもらえる。
- ・活動時間には必ず指導してくれる人がいてよい。
- ・自分たちのことをよく理解してくれているから安心して活動できる。
- ・教わる機会が増えた。
- ・技術が向上した。
- ・新しい知識、技術、作戦を知ることができる。
- ・指導者が増えることで、安心できる。
- ・女性の指導員のため、女子部員にとっては親近感がある。
- ・専門的な視点でアドバイスがもらえる。

2 【部活動生徒が回答】

部活動指導員から指導を受けることで、不安なことや困っていることは何ですか。

- ・特になし（13の回答）
- ・週末にしか来ないため、生徒の名前を覚えるのが大変そう。

3 【学校（学校長・顧問）が回答】

部活動指導員が配置されてよかったこと、期待することは何ですか

- ・専門的な技術指導やその場に応じた声かけをしてもらい、生徒の意識や技術の向上が見られた。
- ・休日の活動を任せられると、顧問も休みをとることができ、プライベートな時間をもてる。
- ・礼儀作法、技術的な指導において専門知識を持っているため、生徒たちは効果的・効率的にスキルの向上につながったと感じる。練習方法も教えてくださるため、どのような練習をすればよいかという顧問の悩みも解消された。指導員と生徒の関係も良好で、現時点で困っていることはない。
- ・顧問が部活動の監督、指導をすることができない時間にも活動できたためよかった。
- ・今後、他の部活動や他の中学校にも配置されることを期待している。
- ・生徒が専門的な指導を受けることができた。
- ・休日は、クラブチームの小学生と一緒に活動することが多いため、1年生でも先輩としての意識が芽生え、小学生からも刺激を受けながら活動できた。
- ・指導方法について迷っている際に相談できる。
- ・引率を手伝ってくれているため、安全面の確保に貢献してくれている。
- ・指導時間を調整することができ、顧問が他の業務に時間が使え助かっている。
- ・平日の活動についての情報を共有しながら一緒に指導できている。
- ・大人数を2人で指導できるのは、1人で指導するのとは全く違って、大変ありがたい。
- ・技術面の指導ができるため、生徒の技術を向上させられている。
- ・生徒指導面について、学校教育の一環であることを理解して指導してくれている。
- ・専門的な知識や技術を学ぶことができる。
- ・アクシデントが起きた際、対応が素早く、安心感が得られる。
- ・教員以外の視点で生徒を見ていただくことで、生徒理解や技術指導の面で新たな気づきを得られている。
- ・多くの大人の目で子どもたちのよいところや成長した点を見つけ、生徒とコミュニケーションをとることで、生徒の心身の成長に役立っている。
- ・顧問の急な事情により指導できないときでも、安心して生徒を任せることができるのはありがたい。

4 【学校（学校長・顧問）が回答】

部活動指導員について不安なこと、困っていることは何ですか。

- ・顧問と部活動指導員の指導法の違いによって、生徒が迷わないように指導法を合わせるようにしている。
- ・顧問なしで引率、練習ができるようになるとうい。
- ・ボランティアで携わっていただいている方がいるが、部活動指導員として任用できないか。
- ・今後、新しい部活動指導員が増えることに対して、生徒指導面で不安がある。部活動も教育活動の一環として豊かな人間形成の場であることを理解している必要がある。実力主義に偏らないように生徒の成長に寄り添うことができる人が適任である。

5 【学校（学校長・顧問）が回答】

休日の部活動地域移行について、ご意見や質問はありますか。

- ・完全実施はいつからか。
 - ・完全移行後の学校として関わり方はどうなるか。
- （大会の申し込みなど、責任の所在はクラブになるのか。）

部活動指導員に関するアンケート（部活動指導員本人）

期間	令和5年12月1日～22日
対象	配置されている部活動指導員14人
方法	部活動指導員本人がFormsに回答する

1 部活動指導員としての成果と思うこと

- ・単独での指導はないが、技術面では口頭だけで無く実技で見せる事が出来るため理解しやすいのではと思う。
- ・専門的な知識伝達と技術指導ができた。大会、練習試合は、全て同行できた。顧問とも連携して指導を進められ良い指導ができた。子供達も徐々に成長し結果が残せるようになり、子供達のモチベーションに変化があった。
- ・顧問の先生が学校業務で部活動指導ができない際に単独で指導した。専門的な技術指導を行った。
- ・顧問の先生が経験者でないため、先生よりも専門的な技術指導ができる。顧問が経験者である場合、先生と違う教え方での指導での相乗効果が期待できる。
- ・毎週土曜日の午前中 3 時間だけの指導だったが、顧問の勤務についてかなりの時間数を支援できた。夏休みの平日指導ができた。秋には、その成果が顕著に現れた。この時間を平日に更に広げて行ければと思う。
- ・顧問先生が引率できない場合に代わりに引き受けることができ、活動参加の機会が増えた。
- ・顧問の先生が会議等で部活動生徒につけなかった時、代わりに指導にあたり安全に配慮して指導できた。
- ・技術指導の面で、顧問の先生と意見交換をしながら、よりよい指導が行えた。
- ・多くの部員を指導するにあたり、顧問と協力しながら効率よく活動することが出来た。
- ・自分自身の卓球経験と8年間中学校での指導者経験を活かし、大半は卓球初心者である生徒達に専門的な卓球技術の指導ができ、市内大会・葛南大会優勝、県大会入賞、数多くオープン大会入賞などの結果を残せた。
- ・顧問の先生が不在の練習時間も、生徒達が円滑に活動できるように指導した。顧問の先生に代わり、大会会場までの引率を数回行った。
- ・現在、顧問をしている先生が剣道未経験であるため、顧問の先生よりも専門的な技術指導ができた。
- ・毎回の部活動で技術指導や栄養管理を徹底できた。顧問の不在時でも、いつも通りの部活動が円滑に行えた。大会や記録会などに向かう姿勢や態度など、内面の指導にも貢献できた。
- ・指導し始めの頃より確実に子供たちのバスケットボールに対する理解度・技術的なことが成長していると感じる。
- ・学校が大会会場となることが多く、準備等の面でも顧問をサポートすることができた。
- ・顧問が会議や出張等で不在時に指導することができた。

2 部活動指導員として課題と思うこと

- ・先生や学校と指導者との緊密な協力信頼関係の構築。指導者も複数人の協力者が必要だと思います。顧問との連携、指導方法、指導方針のすり合わせ、個人情報の管理などが課題。
- ・子供たちの学校生活とのバランスを考えての指導と、子供たちの目標達成のための指導を考えた時に時間の使い方について難しく感じた。
- ・月に4回程度の指導では、指導員単独での大会・練習試合の引率は厳しいように感じる（大会の場合、基本1日がかかりになり3時間程度では終わらない。）
- ・先生のように、生徒がどのような子か（性格や体調面）等、なんとなくしかわかっていなく単独引率時どのようなになるか不安。卓球の場合、生徒の一人一人がレギュラーでもあり、同時に違う台で試合が始まるので、試合時全員見られず指導することになるため、どの生徒を優先するか、練習時のように平等に指導することが難しい。
- ・上位を目指しているクラブと違い、生徒がいろんな考え方で部活に入っているため、意欲等も生徒によって差があり、それぞれに合わせた教え方が難しいと感じる。
- ・顧問と部活動指導員の立ち位置が同じではないため、どこまで指導すればよいのか難しいと感じた。
- ・毎日休まず参加する生徒と平気でサボる生徒の間に入って指導することが大変だった。どうやっても参加しない生徒へは指導が入らないので、部活動の地域移行になったときには、指導を受ける側にもそれなりの契約を結ばせる必要を感じた。
- ・校庭を専有して活動している訳ではないので、他の部活動と重なっているときには学校側(顧問)で優先時間を決める調整をしてもらえると良い。
- ・練習試合等が予定されていたにも関わらず、事前に連絡がないことが多々ありました。「次月の予定」を2週間前に頂けると調整がうまくいったのではないかと。学校の方でも早く予定を出してもらえると助かる。部活動指導員を本業にしてやっているのではないため、その点は顧問にもしっかりと調整していただきたい。
- ・仕事を持っている方が部活動指導員で活動することは、とても大変であると感じた。
- ・安全面の配慮として、先生がいないと学校のコート使用することができない。トイレや安全配慮や教育を行ったうえで、今後は指導員だけでも使用できるようにしてほしい。
- ・保護者との関係づくりが十分できなかった。
- ・部活動に対する基本的な考え方についてより一層共通化を図って行きたい。
- ・部活動時間が段々短縮される状況の中、生徒達が自ら立てた目標(関東大会出場)を実現させるための練習時間が深刻な不足を痛感し、日々練習の質を上げる努力しているが、そろそろ工夫面の限界到来を感じる。どのぐらいの練習量が適切かなど難しさを感じている。
- ・栄養管理や怪我予防に関しては、学校だけでなく家庭の協力も必須であるが、各家庭の事情が生徒それぞれあること。
- ・子供たちの集中力の持続性・モチベーションの維持・個々人が自発的に自分の課題に挑戦していくことの継続性をいかに気づかせるか。
- ・慣れていないと生徒指導が難しい。

3 その他、部活動指導員についての意見

- ・今年度初めて部活動指導員という立場で中学生へバスケットを指導する中で、その子がどんな子なのかを顧問の先生と話しながらその子に合った声かけ等を考え、専門技術も伝えられたかなと思う。また来年も今見ている子たちとバスケットが出来れば嬉しい。
- ・今回の取り組みは試行的に実施しているが、本格的に実施となったときにはかなりの問題が出ると思っている。
- ・休日においても指導の主導権は学校教員の顧問にあると考えているが、それで良いのかどうか。

4 休日の中学校部活動の地域移行についての意見

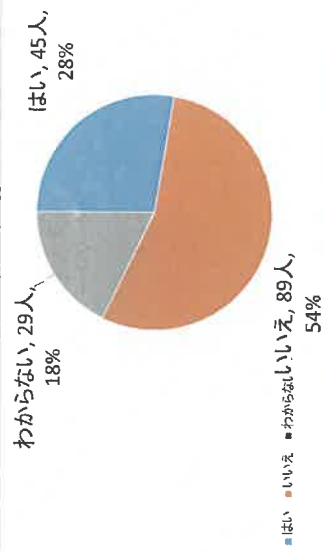
- ・部活動はやはり学校単位が良い。運動が不得意な子供が気軽に出来る環境が無くならない事が重要。
- ・休日の活動時間は、今まで通りか指導員に任せるのか。地域移行した際、部費の扱いはどうなるのか。大会運営、練習試合はどうなるのか。
- ・部活動の地域移行は、クラブへの移行と明確にした方が良いのではないか。部活動に所属していれば進路に有利になるぐらいの感覚で、嫌いなものを無理やりやっている感じのする生徒もいる。
- ・各学校のコート開放が必須だと思う。
- ・トイレの問題、コートや備品管理の問題。
- ・安全面では、休日に通うこと考慮すると学校のコートを使用することがベターではないか。コート管理についても昨今の部活動時間の短縮で整備になかなか時間をかけてできない状況。コート状況が悪いと生徒たちの怪我にも繋がる。定期的に整備をしたいので市として整備に一助できるのであれば幸いである。
- ・時々不登校の生徒であっても、卓球部の部活動はすごく楽しく毎週末の練習はほぼ欠席なしで参加し、葛南大会も仲間と力合わせて全力で戦い、団体で県大会出場まで勝ち取っている子である。このように、クラブチームで強くなるよりは、部活動で仲間と楽しくやりたい子供達は絶対にいると思うので、地域移行後は学校の部活動という受け皿がなくなり、この子達の今後はどうなるか心配している。

中学校部活動の地域移行に 関するアンケート (小中学校教職員)

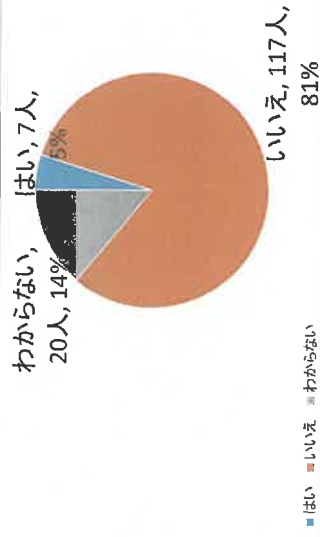
実施期間 令和6年1月9日～23日

対象 市内全小中学校教職員（部活動指導に関わる教員）
回答 小学校114名 中学校163名 計277名

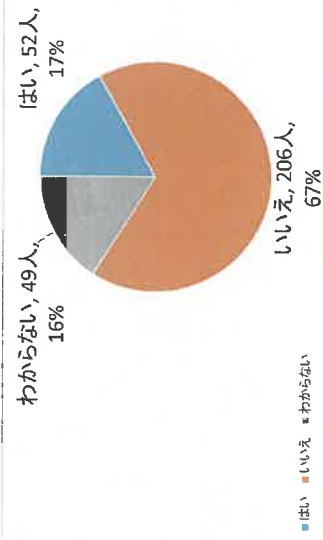
2 兼職により、休日の地域クラブ活動の指導者となることを希望しますか（中学校教職員）



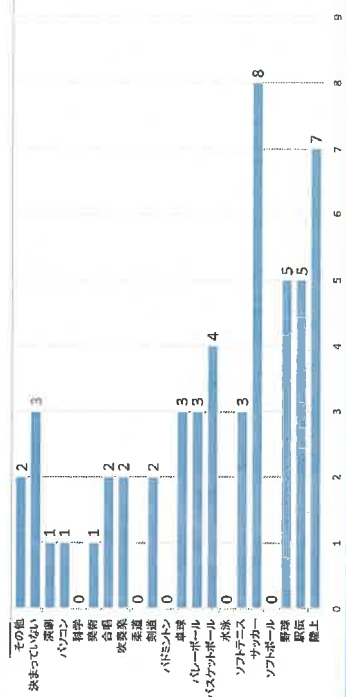
1 兼職により、休日の地域クラブ活動の指導者となることを希望しますか（小学校教職員）



3 兼職により、休日の地域クラブ活動の指導者となることを希望しますか（小中学校教職員合わせて）



4 兼職により、休日の地域クラブ活動の指導者となることを希望しますか（小中学校教職員合わせて）



5 どのスポーツ活動や文化活動の指導を希望しますか

R6.1調査

休日に活動している部活動

①部活動加入数 (R5.5調査)

部活動	陸上	駅伝	野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	水泳	バスケ	バレーボール	卓球	バドミントン	剣道	柔道	吹奏楽	合唱	美術	科学	パソコン	演劇	計	休日に活動している部活動
男子	110	74	98	0	200	114	28	142	93	165	0	55	19	44	2	39	56	27	3	1269	1145
女子	56	22	2	68	2	157	15	96	173	115	0	45	0	198	17	185	20	12	12	1195	961
計	166	96	100	68	202	271	43	238	266	280	0	100	19	242	19	224	76	39	15	2464	2106

部活動加入数

②指導者必要数 (生徒15名に対して指導者1名で算出)

部活動	陸上	駅伝	野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	水泳	バスケ	バレーボール	卓球	バドミントン	剣道	柔道	吹奏楽	合唱	美術	科学	パソコン	演劇	計	休日に活動している部活動
部活動加入数に対して	11.1	6.4	6.7	4.5	13.5	18.1	2.9	15.9	17.7	18.7	0.0	6.7	1.3	16.1	1.3	14.9	5.1	2.6	1.0	164.3	141.7
加入者の70%	7.7	4.5	4.7	3.2	9.4	12.6	2.0	11.1	12.4	13.1	0.0	4.7	0.9	11.3	0.9	10.5	3.5	1.8	0.7	115.0	99.2

③指導者必要数 (生徒20名に対して指導者1名で算出)

部活動	陸上	駅伝	野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	水泳	バスケ	バレーボール	卓球	バドミントン	剣道	柔道	吹奏楽	合唱	美術	科学	パソコン	演劇	計	休日に活動している部活動
部活動加入数に対して	8.3	4.8	5.0	3.4	10.1	13.6	2.2	11.9	13.3	14.0	0.0	5.0	1.0	12.1	1.0	11.2	3.8	2.0	0.8	123.2	106.3
加入者の70%	5.8	3.4	3.5	2.4	7.1	9.5	1.5	8.3	9.3	9.8	0.0	3.5	0.7	8.5	0.7	7.8	2.7	1.4	0.5	86.2	74.4

④兼職で指導を希望する教員数・R6部活動指導員配置数 (予定)

部活動	陸上	駅伝	野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	水泳	バスケ	バレーボール	卓球	バドミントン	剣道	柔道	吹奏楽	合唱	美術	科学	パソコン	演劇	計	休日に活動している部活動
小学校	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	7	5
中学校	5	5	4	0	7	3	0	4	3	3	0	2	0	2	1	0	0	0	1	40	40
部活動指導員	1	1	0	1	3	3	0	3	4	4	0	2	2	1	1	0	0	0	0	26	26
計	8	6	5	1	11	6	0	7	7	7	0	4	2	3	3	1	0	1	1	73	71

⑤指導者の過不足 (生徒15名に対して指導者1名で算出)

部活動	陸上	駅伝	野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	水泳	バスケ	バレーボール	卓球	バドミントン	剣道	柔道	吹奏楽	合唱	美術	科学	パソコン	演劇	計	休日に活動している部活動
R5.5加入数に対して	-3.1	-0.4	-1.7	-3.5	-2.5	-12.1	-2.9	-8.9	-10.7	-11.7	0.0	-2.7	0.7	-13.1	1.7	-13.9	-5.1	-1.6	0.0	-91.3	-72.4
加入者の70%の差	0.3	1.5	0.3	-2.2	1.6	-6.6	-2.0	-4.1	-5.4	-6.1	0.0	-0.7	1.1	-8.3	2.1	-9.5	-3.5	-0.8	0.3	-42.0	-30.3

⑥指導者の過不足 (生徒20名に対して指導者1名で算出)

部活動	陸上	駅伝	野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	水泳	バスケ	バレーボール	卓球	バドミントン	剣道	柔道	吹奏楽	合唱	美術	科学	パソコン	演劇	計	休日に活動している部活動
R5.5加入数に対して	-0.3	1.2	0.0	-2.4	0.9	-7.6	-2.2	-4.9	-6.3	-7.0	0.0	-1.0	1.1	-9.1	2.1	-10.2	-3.8	-1.0	0.3	-50.2	-37.3
加入者の70%の差	2.2	2.6	1.5	-1.4	3.9	-3.5	-1.5	-1.3	-2.3	-2.8	0.0	0.5	1.3	-5.5	2.3	-6.8	-2.7	-0.4	0.5	-13.2	-5.71

●部活動加入数に対して、指導者となることを希望している人数で算出
●地域クラブ活動に移行した際、部活動加入数の70%の生徒の加入を想定して算出
●必要となる指導者数を、生徒15名に対してと、生徒20名に対してで算出

決まっている部活動	決まっている部活動
0	20
2	29
2	49